

図・書・紹・介 *当センター「図書コーナー」にある本を紹介しています。



おーい父親 Part 1 [子育て篇]
著者/汐見稔幸 1,200円(税別)
つい叱り過ぎてしまい、落ち込んでいる母親は多いはず。子育てに父親が参加することで確実にそれが変わります。実際どのように家族とコミュニケーションをとればいいのか教えてくれるエッセイ集。父親としての視野が広がる一冊です。



お父さん、怒鳴らないで
殴られるより苦しいよ!
毎日新聞生活家庭部編
1,500円(税別)
暴力だけがDVではない、怒鳴る行為も立派なDVです。怒鳴る父親が家族をどんなに苦しめているのか切実に伝わってきます。読み終わった後心臓をギュッと掴まれたような気分に。



子育てハッピーアドバイス
著者/明橋大二 イラスト/太田知子
933円(税別)



290万部を記録した大ベストセラー。親ならば、皆子どもの幸せを願っている。では、どうすれば「輝ける子」「キレイな子」に育ってくれるのか。親として、どんなことに気をつければいいのか。その重要なポイントを太田知子さんの可愛いイラストで分かりやすく紹介している。「子どもに甘えさせることの大切さ」がとっても良く分かります。

図書コーナー
【貸し出しのお約束】
一人5冊まで
期限：2週間



女性相談センター

ひとりで悩まずご相談ください

群馬県女性相談センター
(配偶者暴力相談支援センター)
電話(027)224-4480
月～金 9:00～20:00
土・日・祝 13:00～17:00
DV法律電話相談
(事前に電話相談が必要です)
水 13:00～14:30

所在地: ぐんま男女共同参画センター内
内容: 相談(面接を希望される方は事前にお電話ください)

ぐんま男女共同参画センター通信 No.2

【発行】ぐんま男女共同参画センター
【発行日】平成21年7月14日

・次号のセンター通信は9月下旬発行予定です。



お車でお越しの際の駐車については、県庁内「県民駐車場」をご利用ください。(2時間まで無料。以降30分ごとに100円)

開館時間: 火～金 9時～21時
土、日、祝 9時～17時

休館日: 月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)
12月29日～1月3日

所在地: 〒371-0026
群馬県前橋市大手町1-13-12
電話 027-224-2211
Fax 027-224-2214
メール: sankakuse@pref.gunma.jp
http://www.pref.gunma.jp/index.html

ぐんま男女共同参画センター

センター通信 No.2

愛称を募集しています!



ぐんま男女共同参画センターの愛称を募集します

当センターでは、男女共同参画社会づくりの拠点として、各種セミナーの開催、研修室の貸し出し(有料)、図書コーナーの充実、センター通信の発行などに取り組んでいます。

この度、当センターにさらに親しみを持っていただけるよう、愛称を以下により募集することとしました。皆様からのご応募を心よりお待ちしております。

●応募方法

はがき、ファクスまたはメール。以下について記載の上、ご応募ください。
(1) 愛称
(2) 命名の理由・説明
(3) 郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、職業または学校名
※メールでご応募の場合は、表題を「愛称募集への応募」としてご応募ください。

●応募期限

平成21年8月31日(月)(必着)

●応募資格

どなたでも応募できます ※採用作品の応募者には表彰式に出席していただきます。

●賞

採用作品(1点)に賞状と副賞(図書カード3万円分)。

●選考基準

- (1) ぐんま男女共同参画センターの内容を的確に表現していること
(2) 親しみを感じられること
(3) 他に同様の施設名がないこと

※「ぐんま男女共同参画センター」運営会議において審査・決定を行います。同一作品の応募者多数の場合は、抽選で1人に決定します。

●表彰

平成21年10月17日(土)に前橋市内で開催される「全国男女共同参画フォーラム2009 in ぐんま」で採用作品の発表及び表彰を行います。

●その他

- (1) 採用作品に関する著作権等の諸権利は群馬県に帰属します。
(2) 応募作品は自作かつ未発表のものとし、第三者の権利を侵害しないよう十分に配慮してください。
(3) 採用作品は封筒、パンフレット、ホームページ等において使用します。
(4) 応募者の個人情報、愛称募集の目的以外には使用しません。
(5) 応募作品は自作未発表のものとし、1人1点に限りです。

申込み・問い合わせ先 ぐんま男女共同参画センター 〒371-0026 前橋市大手町1-13-12

TEL:027-224-2211 FAX:027-224-2214

メール: sankakuse@pref.gunma.jp

記念講演

『与謝野晶子の男女共同参画』

●(財)三国路与謝野晶子紀行文学館館長 持谷靖子さん

平成21年4月28日(火)の当センターオープン式典で持谷靖子さんに講演をしていただきました。以下、要約を掲載します。



■はじめに

今日は「与謝野晶子の男女共同参画」という視点からお話したいと思います。与謝野晶子を語る際には、これは外してはならないというのがあります。それは晶子を巡る論争で、当時の日本の女性の枠に収まりきれない晶子の考え方や作品を巡る論争です。

晶子は本音でものを言う人でしたが、徒党を組んで物言いをするのはなく、じっと家にいて本音を文章にするわけですから。あれだけの歌を詠った人ですから、どんなすごい表現的な女性かと思うところですが、相手がしゃべりかけなければ何もしゃべらず、じっと考えて、そして文章にするという人だったので。

■晶子の詳伝

晶子は明治11年に生まれ、昭和17年に64歳で亡くなりました。歌集「みだれ髪」ばかりが有名ですが、自然についても数多く詠っています。また、詩人として詩集も2編ありますし、驚かれる人もいらっしゃるかもしれませんが、評論集も書いています。晶子の評論は、これまであまり研究されてこなかったんですが、最近は、男女共同参画の視点や女性の問題、あるいは女性の政治参加、子育ての視点から見直しが進んでいます。

晶子は「源氏物語」の現代語訳でも知られますが、教育者としても大正10年から約20年間、東京のお茶の水にある「文化学院」の教壇に立っており、学監(副校長)という責任ある立場で教科書をたくさん創っています。

それから忘れてならないのは童話で、晶子の童話集は4冊あります。5男6女を育てた晶子は、当初、本を買って子供たちに読んであげたのですが、当時の子供向けの本は仇討ちや泥棒などに関するものばかりで、子供をのんびり育てたかった晶子には我慢できなかったんですね。それで自分で童話を書きました。内容はメルヘン的ではなく、子供の身近にあるものです。また、父親がよく出てくるんです。当時、父親が出てくる童話は少なかったんで、これは晶子の童話の特徴です。

晶子は歌人、詩人、評論家、ジャーナリスト、古典現代語訳者、童話作家であり、小説家、教育者であったのです。

■心をさらけ出して詠った晶子の歌

晶子は、夫となる寛(鉄寛)に「今までの日本の歌は、親孝行や花が咲き乱れるような美しいものばかりだ。僕たちは、心の底から愛する人と心をさらけ出すような恋愛をしよう。そして、同じようにして人間の真実を、誠の心を詠おう。」と言われます。晶子はこの言葉に燃え上がったんですね。「自分の心をさらけ出して詠う、それが歌だ」と、晶子は衝撃を

受けました。「心の底を見つめて詠おう」。それで「みだれ髪」が出来たのです。

今でも読んでいて恥ずかしくなるよう

な「病みませる／うなじに緋(ほそ)き／かひな捲(ま)きて／熱にかわける／御口を吸はむ(病んでいる首に手まわし口づけをすればあなたはとも熱いわ)」など、風邪をひいた寛を想った歌や、あるいは性愛を詠ったものもあります。

ところが「みだれ髪」は日本の風習にはなじまず、大論争を巻き起こしました。「晶子とは何者か」「夜鷹か」などと驚かれましたが、森鷗外などが支持し、結局は熱狂的に迎えられることになりました。

以後、晶子は「近代短歌の生みの母」と言われ、寛への情熱、女性の心を表す歌をたくさん創りました。驚くのは自分の身体を賛美する歌も創り、お風呂の中の自分の裸を詠ったりしています。他にはもちろんそんな人はいなかったわけです。

「恋衣」という歌集には、有名な「ああおとうよ 君を泣く／君死にたもうことなかれ」という、日露戦争に召集された弟を詠った歌が収められました。これも当時、大変な騒動となりました。

■晶子の「男女共同参画」観

寛が鬱屈してすねているのを見て、晶子はヨーロッパへの単身留学を勧め、寛は一人で渡欧しましたが、結局ヨーロッパへ晶子を呼び寄せました。晶子ははじめ「夫がいなければどんなに仕事ができたら」と思いましたが、後に夫恋しさにヨーロッパに遊学しました。ヨーロッパ行きは、晶子に新しい目を開かせ、それからの評論活動の良い機会となりました。

また、晶子は、福沢諭吉の『学問のすすめ』“人の上に人をつくらず”や、“男女同数論一世の中の半分は女性なのだから、女性が幸せにならなければ男性が幸せになるわけではない”など、明治初期の思想家の影響を受けていました。そして「人間一人ひとりの自立と覚醒と独立の心があってこそ国家が変わるんじゃないか」と、女性の絶対経済的独立を訴えていました。晶子の訴えは、当時としては夢物語だったでしょうが、それが現代まで続き、今もせめぎ合っていると、私は思います。

本日、ぐんま男女共同参画センターがオープンした、ということは、晶子からすれば、「えっ、ようやくできたんだ」という感じかもしれませんが、男女共同参画推進の拠点施設である当センターに関わる皆さんの、これからの頑張りを大いに応援していきたいと思っています。

もっと幸せ☆応援セミナー

当センターでは、男女共同参画社会の推進を図るため、『もっと幸せ☆応援セミナー』を開催します。初回は男女共同参画について学び、以後まちづくり、家族の介護、DVなどのそれぞれのスペシャリストを迎え、分かりやすく話していただきます。講師陣の前向きな生き方に触れる計4回のセミナーです。

日程 (連続参加できなくてもOKです)

回	日時	時間	テーマ	講師
1	8/22(土)	9:30~11:00	尊重し合い 磨き合える社会 ~男女共同参画社会をつくる~	群馬バース大学教授 内藤和美
		11:10~12:30	上州の満徳寺、世界に二つの縁切寺	縁切寺満徳寺資料館館長 高木侃
2	8/29(土)	9:30~12:05	市民参加とまちづくりの現状と課題 ほか	NPO まちづくり支援センター代表 為国孝敏
3	9/5(土)	9:30~10:55	介護・家族のかかわり	県看護協会 訪問看護ステーション理事 棚橋さつき
		11:05~12:30	世界の女性とともに	国連女性開発基金日本国内委員会理事 吉川真由美
4	9/19(土)	9:30~10:55	DVの基本的なお話 ~ふたりの健やかな関係のために~	DV・性暴力 クライシスカウンセラー 原田いずみ
		11:05~12:30	新たなる成長を求めて ~ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて~	ぐんま県民塾主宰 倉田恵美子

場所 ぐんま男女共同参画センター

募集 40人(男女問わず)先着順

締切 8月11日(火)

参加費 無料

申込方法 電話、FAX、メール、はがき(当日消印有効)
・住所・氏名・電話番号をお知らせください。

その他 無料託児あり。(各講座の1週間前までにお申込み下さい。)



父親のための 子育て支援講座のご案内



ファザーリング・ジャパン代表

安藤哲也氏が語る

「子育てとワーク・ライフ・バランスの実践」

子育てのカリスマパパである安藤哲也氏に、父親の仕事と子育ての両立や父親の家庭への参加方法について学びます。

日程 9月12日(土) 午後1時30分~3時

場所 ぐんま男女共同参画センター

対象 小学校6年生以下の子どもを子育て中の
父親及び夫婦

※就学前児童については託児(無料)があります。

定員 80人※申込者多数の場合は抽選により決定します。

参加費 無料

締切 8月29日(土)

申込方法 電話、FAX、メール、はがき(当日消印有効)
・住所・氏名・年齢・電話番号・職業・子どもを託児希望する場合はその旨と名前・年齢等をお知らせください。

■上記セミナーの申込み・問い合わせ先 ぐんま男女共同参画センターまで